

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆銀行窓口での本人確認、原則マイナカードなどICチップで 27年4月から

・警察庁は銀行窓口での口座開設といった対面取引の本人確認について、2027年4月からマイナンバーカードなどのICチップを読み取る方法を原則義務付ける方針を明らかにした。インターネットを介した非対面の取引も27年4月から原則としてマイナカードの活用が義務となる見通しで、幅広い取引で本人確認が厳格化される。

◆25年の出生数は最少66.5万人 民間試算、結婚数は横ばい

・2025年に日本で生まれる日本人の子どもの数は前年比3.0%減の66万5000人程度となりそう。2年連続で70万人を割り、過去最少を更新。少子化に歯止めをかける道筋はなお見通せない。日本総合研究所が25年11月までに公表された人口動態統計をもとに試算。出生数は統計のある1899年以降、過去最少。2016年以降10年連続で減少。

◆都市と地方の税収格差是正、法人事業税の再分配強化が軸 政府・与党

・政府・与党は都市と地方の税収格差を是正する仕組みの拡大を検討。法人事業税の再分配制度の強化が軸に。東京都と他の道府県の財政力の差が広がり、人口などのさらなる一極集中を招いていることを問題視。自民党税制調査会の小野寺会長が「(企業の納税が)東京中心に落ちる仕組みをしっかりと直していくことが大事」と述べた。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆ノーリツの純利益31億円に上方修正 25年12月期、中国事業の販管費抑制

・ノーリツは2025年12月期の連結純利益が前期比29%減の31億円になりそうだと発表。同45%減の24億円としていた従来予想から上方修正。中国事業の不振が続く中、人員削減や大規模な展示会への出展を控えるといった現地の販管費抑制が寄与。売上高は前期比微減の2020億円と、従来予想から30億円下方修正した。中国事業の不振が響く。

◆第2Q実績、注文の不振を賃貸やリフォームでカバー 住団連調査

・住宅生産団体連合会は2025年度第3回「経営者の住宅景況感調査」の結果を公表。第2四半期(7～9月)、戸建て注文住宅は受注戸数でマイナス68ポイント(4期連続)、受注金額ではマイナス42ポイント(2期連続)と低調。一方、リフォームの受注金額は11期連続プラスとなり、低層賃貸住宅も戸数はマイナスだが金額は9期連続のプラス。

◆BL認定基準を改正「太陽熱利用システム」「ガス給湯機」など

・ベターリビングは「太陽熱利用システム」「ガス給湯機」「便器」の優良住宅部品認定基準(BL認定)を改正し公表。「太陽熱利用システム」では住宅版の「エネルギー消費性能計算プログラム」に対応するパラメータ入力項目および算出方法を追加。「ガス給湯機」では潜熱回収機器のドレン配管施工方法に雨水の縦樋へ直接接合を追加。

《 注目商品 》

■パロマ ドレン水を直接排水、集合住宅向けエコジョーズ

・ドレン排水専用縦管のない集合住宅に設置できる新型ガスふろ給湯器「BRIGHTS ドレンアップ」シリーズを発売。集合住宅に設置する際の制約を軽減する「ドレンアップ方式」を採用したエコジョーズ。ドレン排水用ポンプによりユニットバス防水パンへ直接排水。



■マキタ、充電式ブロワ発売 落ち葉の吹き飛ばしと回収を1台で

・充電式のブロワを発売。片手で持てるコンパクトな形状で落ち葉などを吹き飛ばす。パーツを付け替えることで、1カ所にあつめたゴミを吸い込んで回収もできる。集じん用パーツを含む本体価格は6万9700円(税別)。使用する40Vmaxのバッテリーや充電器は別売り。



■LIXIL、取替窓「リプラス」に寒冷地向け引き違い窓

・既存のアルミ窓をカバー工法で樹脂窓へと容易に交換できるリフォーム窓「リプラス」から、寒冷地に適した「居室仕様 EWタイプ」を追加して発売。引き違い窓のみ(複層ガラス、トリプルガラス)の設定で、間口の縮小や連段窓には非対応。

